

技術支援事例 No.77 / 試作加工技術

新しい形状の水切り器の試作

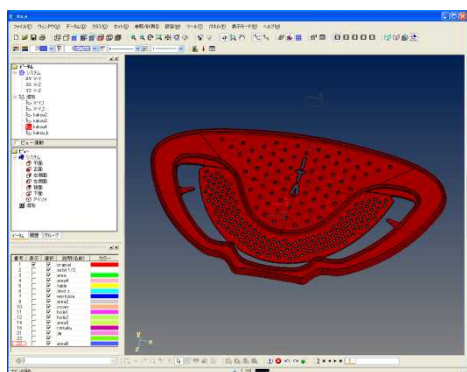
削り出しによる試作品の製作

支援の背景

アウトドア用品を販売している「LEBOWSKI」では、ボールなどの容器にはめ込んで、お米やパスタなどの水切りを行う新しい形状の水切り器を考案し、特許を申請しました。そこで製品化に向けて、強度や使い勝手の確認のため実際の材料(ナイロン)を用いて、試作品を製作することになり、沖縄県工業技術センターに協力依頼がありました。

支援内容

「LEBOWSKI」から頂いた3Dデータを元に、自動加工用の加工データを作成しました。その後、数値制御で自動加工が行える加工機(マシニングセンタ)を使用して、ナイロンプレートで切削加工して試作品を製作しました。この試作品を用いて性能を確認後、設計に改良を加え、何度か試作を行いました。



3Dデータ



マシニングセンタによる加工

支援の成果

試作品を実際に使用して、デザインや強度、使用感などを確認でき、より良い製品を開発することができました。これをもとに「LEBOWSKI」では、金型を製作して、量産、販売をしています。



金型で成形した水切り器